2000年以降 県内再編5例

信金同士は高山・神岡以来

県内の金融機関の再編は、2000年以降では5例ある。直近で岐阜銀行を吸収合併。大垣信用金庫と西濃信用金庫が合併すると、信用金庫同士の合併は2000年に高山信用金庫と旧神岡信用金庫が合併して以来となる。

十六銀行は旧岐阜銀行との合併で、岐阜銀の愛知県内8店舗、三重県内1店舗が加わり、150店を超える店舗体制（当時）を構築した。

このほか、阜信用金庫が破綻した旧中津川信用組合から、01年に東濃信用金庫が破綻した瑞浪商工信用組合から、それぞれ事業譲渡を受けた。2000年には、大垣共立銀行と旧郡上信用組合が合併している。

無断複製・転載を禁じます